

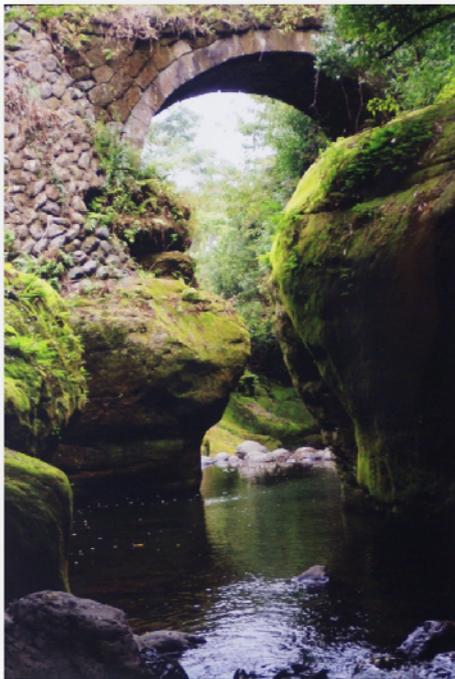
第2回「佐々川流域の石橋群」フォト・絵画コンテスト

絵画(一般の部)最優秀賞に山澤寛伸さん(佐世保市)作品

第2回「佐々川流域の石橋群」フォト・絵画コンテストに、絵画(一般の部)に6点、絵画(小中学生の部)に9点、写真の部には39点、合計54点の応募をいただきました。

去る1月21日に会員による審査会を行い、3部門の入賞作品を決定しました。

結果、絵画(一般の部)には佐世保市の山澤寛伸さんが描かれた「秋の日の丑太郎橋」が「石橋の質感や周辺の緑の樹叢が見事に描かれている」として最優秀賞に決定。優秀賞には、末



永公子さん、脇山國利さん、末藤達也さん、東島栄子さん、丸上友子さんの作品が選ばれました。(順不同、いずれも佐世保市)

写真の部最優秀賞 末永公子さん「佐々川流域の石橋」

“佐々川上流域の特徴的景観と石橋を見事にとらえた作品”

写真の部では末永公子さんの「佐々川流域の石橋」が最優秀賞に選ばれました。末永さんの目線は、佐々川の特徴である砂岩の溪流の姿と石橋とを見事にとらえられていました。

同部門の優秀賞は、原 浩高さん、末永耕一郎さん、麻生 眞さん、相浦英治さん、河瀬俊雄さん(以上佐世保市)古賀嘉代子さん(佐々町)(順不同)が選ばれました。

力強く 生きた石橋 中学生 茂山将也さんの作品「倉淵橋」

絵画(小・中学生の部)には9点の応募がありました。いずれも石橋が多くかかる世知原の中学校からの応募でした。その中で最優秀賞に選ばれたのは茂山将也さん(1年生)の「倉淵橋」でした。茂山さんは大きな石橋を画面の中に入れる工夫と、川の流れによって、強い石橋がまさに生活の中に生きているかのような絵に仕上げていました。

優秀賞には、山川ジュリアン元気さん、山下幸紀さん、尼崎拓也さん、本山達也さん、作永健太さん(世知原中学校・順不同)が選ばれました。



三部門とも、石橋を通し自然や文化、歴史をとらえたすばらしい作品ばかりで、溜息ばかりの審査会でした。